

〔No. 1〕 図のように高さが等しい矩形断面と円形断面がある。同じ大きさの曲げモーメントが作用するとき、図に示す垂直応力度分布となり、最大・最小垂直応力度 $\pm\sigma$ が2つの断面で等しくなった。このとき、矩形断面と円形断面の断面積をそれぞれ A_R 、 A_C とすると、それらの比として、正しいものは、次のうちどれか。ただし、矩形断面と円形断面の断面二次モーメントはそれぞれ $\frac{bh^3}{12}$ 、 $\frac{\pi h^4}{64}$ である。

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.

A_R	:	A_C
9	:	16
3	:	4
5	:	6
1	:	1

